



PTA会報

蒼天の翼

第29号

PTA 調査広報委員会

2011.12.14

題字 小野早百合



クリーンエネルギーを訪ねて



ご挨拶

PTA会長 千葉 喜章

鮮やかな紅葉の季節から山々は黄や茶色に染まり初冬の様相になってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も後半に入り、千厩祭では生徒たちの多彩な展示やステージ発表、野外での出店などにPTA会員のみなならず多くの市民で賑わいました。生徒たちの日頃の活躍ぶりや学習の成果を知ることができましたし、三科をもつ本校の良さを改めて感じました。PTAでは、母親委員会をはじめ各委員会の展示発表、そして、震災復興を願って募金活動に取り組みました。役員をはじめ皆様のご協力に感謝いたします。

また、新エネルギーをテーマにした研修旅行は、原発問題のさなか時宜を得たものとなり、牧歌的な雰囲気でのパーベキューやワイナリーも好評だったようです。お世話いただいた先生方、研修委員の皆さん大変ご苦労様でした。

年中行事もほぼ終わり、そろそろ気になる進路に目を向けますと、就職組は厳しい就職戦線の中、一次で7割の内定を勝ち取ったとのこと。この調子で全員志望どおり採用になるよう願っています。また、進学組は推薦入試も終わり、年明けのセンター試験や一般入試に十分な準備で臨み、それぞれ希望の春を迎えてほしいと思います。

先日、「今年の漢字」二年の世相を漢字一文字で表現する)で知られる京都・清水寺の山田貫主の書「絆」の話題が岩手日々の紙面に載っていました。ある調査によれば、震災後家族の絆意識や家族への責任感ばかりではなく、父親が家族と過ごす時間が増えたなど、親としての行動にも変化が現れているのだそうです。また、お歳暮商戦では鍋セットが人気上昇中だそうです。これも「絆意識」の表れでしょうか。スーパーに行くとき様々な鍋料理が紹介されていて、想像しただけでも暖かくなる気がいたします。鍋を囲めば会話も弾み家族の絆が深まるでしょう。ということ。今年「絆」で決まりでしょうか？皆さんはどんな一文字を思い浮かべますか？来年こそは明るい年になればと願いたいものです。